



【板三学びのエリア】板三中&板一小&板八小&中根橋小

板橋第三中学校 学校だより

三本のペン 輝く

教育目標

学ぶ 鍛える 思いやる

令和8年度 第4号

令和8年7月16日

校長 松本 彰弘

平和を願う思いをもち続けましょう

明日で1学期が終わり、夏休みに入ります。今年は、例年より3日長い45日間の夏休みとなります。時間割に則って過ごすことがない夏休み。さてどのように過ごしましょうか。部活など学校で過ごす時間はある程度見通しをもって取り組めるでしょうが、そうではない多くの時間を有効に使うことを心がけてください。特に9年生は、卒業後の進路選択のために学習に費やす時間が多くなると思います。夏休みにやるべきことを自分で決めて、それをやり遂げる意志の強さが求められます。ゲームとか動画とかいくつもの誘惑に負けずに学力の定着と向上のため努力をしてください。

さて、8月になると、毎年戦争や平和について扱う報道番組やドラマがテレビで放送されます。8月6日に広島に、8月9日に長崎に原爆が落とされたこと、そして8月15日に終戦の日を迎えることがその理由です。この3日間は、日本に暮らす者として、平和を願う者として記憶しておくべき日だと思うのですが、知らない人が増えているとの調査もあります。終戦から80年以上が経ちます。戦争体験者も減っていく中で、戦争の記憶を風化させない、戦争のない平和な世の中を守り続けたいという思いがそれぞれの番組に込められていると思います。報道番組やドラマだけでなく、平和について考える機会をもつための様々な取組が行われています。板橋区が行っている「広島・長崎平和の旅」もその一つです。8年生の代表2名が参加します。文化祭で2人が学んだことを報告してくれます。全員で、しっかり学びましょう。

20年以上前に、「さとうきび畑の唄」というドラマが放送されました。保護者の皆様の中にはご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。主人公は、沖縄で写真館を営み、家族と人々の笑顔を愛する父親でした。やがて、沖縄は戦争に巻き込まれ、主人公も軍に召集されます。彼はあるとき負傷したアメリカ兵を射殺するよう上官に命じられます。軍隊では上官の命令は絶対です。でも彼は撃つことができませんでした。無理矢理撃たせようとする上官に向かって、彼は叫びます。

私は、こんなことをするために生まれてきたんじゃないんです！

命令に従わなかった彼は、上官に撃たれ命を落とします。戦争という極限状態が生んだ悲劇です。ドラマはフィクションですが、戦争の悲惨さは十分に伝わりました。

今も世界では、ウクライナやパレスチナやイランなど、あちらこちらで戦争や紛争が続いています。戦場にいる兵士の中にも「私はこんなことをするために生まれてきたんじゃない」と思いつつ戦っている人がいるかもしれません。人類はいつまでこの愚かな行為を続けるのでしょうか。戦争は罪もない多くの人々の尊い命を理不尽に奪っていきます。みなさんに、平和について夏休みに学ぶ機会をもつことを推奨します。そして、平和を願う思い、平和を守り続けようとする思いを育ててほしいと強く望みます。



あいさつ運動週間報告

6月29日（月）から7月3日（金）まで、学びのエリア4校（板一小、板八小、中根橋小、板三中）で同時にあいさつ運動週間を行いました。これまで、板三中では生活委員会の活動として、年2回学びのエリアの3校に1日ずつ出向き、小学生に向けてあいさつ運動を行ってきました。また、生徒会役員を中心とした校内での「あいさつDAY」の活動も行ってきました。しかし、関係生徒以外や小学生への浸透度合いが小さく、単発的な活動となっていました。そこで、4校の校長が話し合い、今年度から学びのエリアで一斉にあいさつ運動を行うことで、学びのエリアに住む子どもたち全員があいさつの習慣付けをめざすこととなりました。あわせて保護者の方や地域みなさまにもあいさつ運動を行うことをお知らせし、大人からも積極的に子どもたちにあいさつをしてくださることを依頼しました。また、大人同士のあいさつの励行も呼びかけました。

今回、板一小には大雨の影響で行けませんでした。板八小と中根橋小では生活委員によるあいさつ運動を実施できました。校内では生徒会役員と学級委員による「あいさつDAY」の活動を行いました。朝から元気なあいさつが正門や中庭や昇降口に響き渡り、すがすがしい気分になりました。小学生もあいさつを頑張ったそうで、「中学生があいさつしている姿を見て、自分たちももっと頑張ろうと思った」という感想があったそうです。また、生活委員と一緒にあいさつ運動に参加して下さった町会長様がいらしたとの報告も受けています。今回のあいさつ運動は、一定の成果を上げられたと感じています。

次回は、11月24日（火）～27日（金）に行います。板三中生は、気持ちよいあいさつができる生徒だと感じています。引き続きあいさつの励行に努めましょう。

校則について校長からのアンケートを行いました

板橋区では、令和5年3月に「校則の見直しに関するガイドライン」を制定し、「少なくとも年に1回は、校則について生徒が主体的に話し合い、自分たちで自分たちの学校をよりよくしていこうという意識を育てる場をもつこと」と定めました。今年も、校則についての話し合いを行うにあたり、生徒のみなさんが「Be Gentleman」というたった一つの校則についてどのように考えているのか、それを知りたいと思い、校長からのアンケートを採りました。結果は以下の通りです。

現在の学校生活がよいものであり、他校にはない誇るべきものだから、校則はこの一つだけのままでよい	55.7%
校則が一つであっても、学校生活がしっかり送れているし、校則を見直すことは、いろいろめんどうなことがあるので、校則はこのままでよい	22.5%
校則が一つしかないことで、学校生活の中で困ることや疑問に感じることもあるので、校則を見直したほうがよい	9.6%
他校に誇るべきよい校則だと思うが、制定されてから時間が経過しているので、学校生活をさらに良くするために、校則を見直したほうがよい	6.7%
校則を見直そうとしても、結局自分たちだけでは決められないのだから、校則について考えることが、そもそもむだなことだと思う	3.6%

校則は『Be Gentleman』1つでよいという意見が78.2%もあり大多数を占めました。多くの生徒はたった一つの校則に誇りを持ち、現状に満足していることがわかりました。その一方で、見直した方がよいと考えた生徒も15%程度おり、見過ごすことのできない現状があります。その多くは、教員の指導に一定さが欠けると指摘していました。

そこで、6月29日の朝礼で、校長より、

- 1 校則は「Be Gentleman」一つだけを存続すること
- 2 校則に付随する学校生活について統一性をもたせること

を生徒に伝えました。今後は、教員間の指導の一体化を図ることと生徒による話し合い活動を行うことで、よりよい「Gentleman」が生活する学校を築いていきます。

第2回コミュニティ・スクール委員会報告

7月10日（金）に第2回コミュニティ・スクール委員会を行いました。今回は、次のような話し合いをしました。

【 1学期の学校の様子について 】

学校から、1学期の学校生活について委員のみなさまに報告しました。その中で、運動会の保護者アンケートの結果、校則に関するアンケートの結果、あいさつ運動の3項目について意見交換をしました。委員のみなさまからは、「運動会の保護者席が狭いという意見は何年も前からあるものなので、次年度は学校側の対応を期待する」「学校に来ると、いつも生徒がとてもよくあいさつをしてくれる。あいさつ運動を学びのエリアで同時に行うことで、よりあいさつが活発な学校や地域となることを期待する」「校則に多くの生徒が誇りをもっていることはとても良いことだ。あいまいな部分については、生徒が自分たちできまりを定めるようになることが望ましい。」といった意見をいただきました。

【 来年度の創立80周年事業について 】

本校は、来年創立80周年を迎えます。記念式典を始め諸行事の準備をこれから始めていかねばなりません。その準備委員会の立ち上げや記念事業の内容について委員のみなさんと意見交換を行い、方向性を決めました。委員の中には創立60周年や創立70周年記念に関わった方や学びのエリアの小学校の周年行事に関わった方もいらっしゃるの、その経験も参考にしていきながら、板三中の80周年を生徒が主体となって作り上げていけたらいいと考えています。

【 中根橋小のICS宣言について 】

中根橋小には、小学生がSNSを使用するのは時期尚早であり、ネットトラブルを解決するのは教員ではなく保護者だと考えるというICS宣言があるそうです。本校でそのような宣言を出すことはしないが、何もかも教員に頼るのは、教員の超過勤務を生み出し、学校の教育の質の低下につながるのではないかと意見をいただきました。

SOSの出し方のキーワードは「きょうしつ」

夏休みを前に「SOSの出し方に関する教育」を行いました。

「子供が、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す）ができるようにすること」、「身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること」を目的とした教育です。本校では、夏休みを前に全クラスで東京都教育委員会が作成した資料を基に、「一人で悩みを抱え込まずに 身近にいる信頼できる大人に相談すること。」を伝えました。また、様々な相談機関が紹介されている一覧表も配りました。

中学生は誰しも様々な悩みを抱えることが増えてきます。その悩みと向き合い解消できる方法を身につけることも大切ですが、周りの大人に相談する勇気を育てることも大切です。また、周囲の大人はそのSOSを敏感に捉え、子どもの命を守ることに力を尽くす必要があります。夏休みには、ご家庭で、親子でゆっくり話をする機会をもっていただきたいと思います。何かいつもと違うな、気になるなと感じましたら、学校にご連絡ください。

き	気付いて
よ	寄り添い
う	受け止めて
し	信頼できる大人に
つ	伝えよう

悩みを抱えている子どもや友達に手を差し伸べるキーワードは「きょうしつ」です。左に挙げた行動指針の頭文字をつなげたものです。近年はSNSに起因するトラブルや、親や家族に心配をかけたくないと思って悩みを隠したりすることが増えており、気が付きが遅れてしまうこともあります。多くの目でお子様の命と安全を守ることを、大人が意識することが大切です。



pixta.jp - 74520758

小学6年生部活動体験&バドミントンクラブへの地域移行

7月6日（月）から7月10日（金）までの1週間、学びのエリアの小学6年生を対象に部活動体験会を行いました。板三中にある13の部活動に、30分間だけですが参加してもらい、次年度からの中学校生活になじんでもらうための試みです。参加した小学生は楽しそうにそれぞれの部活動に参加していました。教える板三中生も照れくさはあったものの親切に接していました。多くの運動部では9年生が引退しているため、8年生が部のリーダーとなって、よく頑張っていました。

6年生の各部活動への参加申込数は以下の通りでした。

サッカー部	18名	ソフトテニス部	26名	野球クラブ	12名
バスケットボール部	29名	卓球部	24名	バドミントン部	41名
ダンス部	19名	吹奏楽部	18名	美術部	15名
茶道部	15名	華道部	10名	英語部	3名
自然科学部	11名				

部活動関連のお知らせで、バドミントン部が8月1日から、板橋区が提携する民間業者が運営するバドミントンクラブとなります。野球クラブに続いて2つめの部活動の地域移行です。活動場所や活動日は同じです。指導者として2名が民間業者から派遣され、クラブの運営を行います。すでに説明会が行われ、クラブへの入部手続きも行われています。

夏休み中の学校への連絡は、平日8：15～16：45にお願いいたします。ただし、8月10日（月）～14日（金）は学校閉庁期間ですので、緊急な場合のみ板橋区役所にご連絡ください。（03-3964-1111）交通事故に遭ったとか不審者に遭遇したとか、緊急に安全を守らねばならないときは、すぐに110番通報をしてください。

生徒の活躍

○野球クラブ

ブロック大会出場決定
戦惜敗（板橋区第3位）

○卓球部

板橋区選手権大会
男子団体 第3位
女子団体 惜敗

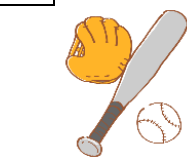
○バドミントン部

板橋区選手権大会
男子ダブルス
第3位
女子団体 準優勝
第4ブロック大会
男子ダブルス
惜敗

女子団体第6位
（都大会出場権獲得）

○全日本中学校通信陸上競技東京都大会

共通女子200m 第3位
3年女子100m 第5位
9年 さん



今後の予定

- 7月16日（木）保護者会
- 7月17日（金）終業式
（給食あり、生徒は5校時後下校）
- 7月21日（火）夏季休業日開始
8年職場体験学習（～23日）
三者面談期間開始
- 8月10日（月）～14日（金）
学校閉庁期間
- 8月24日（月）～28日（金）
夏季学習教室
- 9月 1日（火）始業式 給食後下校
- 9月 2日（水）生徒会役員選挙公示
- 9月 4日（金）月曜日の授業
専門委員会
- 9月 9日（水）～11日（金）
8年生移動教室
- 9月15日（火）7年生脊柱側湾検診
- 9月17日（木）7年生貧血検査
- 9月18日（金）学校公開（午後のみ）
学校説明会（6年生対象）

